



第3次尾張旭市健康都市プログラム

令和6～15年度(2024～2033年度)



健康都市プログラム

「健康都市 尾張旭」を実現するため、第六次総合計画の基本目標をはじめ、各種施策や他の関連する個別計画などから「健康」をキーワードに抽出して総合的な方針を示しています。

健康都市プログラムの施策の方針

「いつまでも健康でいることができるまちづくり」、「外に出かけたくなるまちづくり」、「住み続けたくなるまちづくり」の3つの施策の方針が相乗効果を発揮し、まち全体でからだ、こころ、まちの健康を目指す「健康都市 尾張旭」を推進します。



いつまでも健康でいることができるまちづくり

- 子どもから大人まで各年齢層に合わせた心身の健康を維持・増進できる環境を整備します。
- 自身の健康に関心を持ち、自分に合った健康づくりに取り組むことができる環境づくりを進めます。
- 自分らしく、いつまでも元気でいきいきと生活することができるまちづくりを推進します。

外に出かけたくなるまちづくり

- 市民同士の交流や助け合いなど、人とのつながりを持つことができるまちづくりを推進します。
- 市民が楽しみながら参加できる自主的な活動を支援します。
- まちの中を不自由なく快適に移動できる環境づくりを推進します。

住み続けたくなるまちづくり

- 健康都市の取組などの市の魅力を発信することで認知度を高めるほか、健康的な暮らしを実感できるなど市に対する愛着や誇りを育むことで、尾張旭市に住みたい、住み続けたい居住者を増やします。
- 都市基盤や公園緑地などの整備・改善を行います。
- 犯罪や災害、交通事故などの危険性の少ない、安全で質の高い住環境を引き続き整備します。

健康都市プログラムリーディングプラン

3つの施策の方針に基づく健康都市づくりをより効果的に推進するため、本市に適した健康都市づくりのテーマを設け、5つのリーディングプラン及びプランに基づく各施策の推進イメージを設けました。

	リーディングプラン	推進イメージ
1	いきいき元気サイクル	いつでも元気サイクル
		こどもすくすくのびのび
		高齢者はつらつアップ
2	楽しく運動できるまち	楽しく運動できるまち
3	心わくわくうきうき	心わくわくうきうき
4	プラネタリーヘルス	エコ・ガーデンシティ
		食育による健康推進
5	まちのまるごとリノベーション	まちのまるごとリノベーション

[参考] 関連サイト

健康都市プログラム【本編資料】(市公式ホームページ)

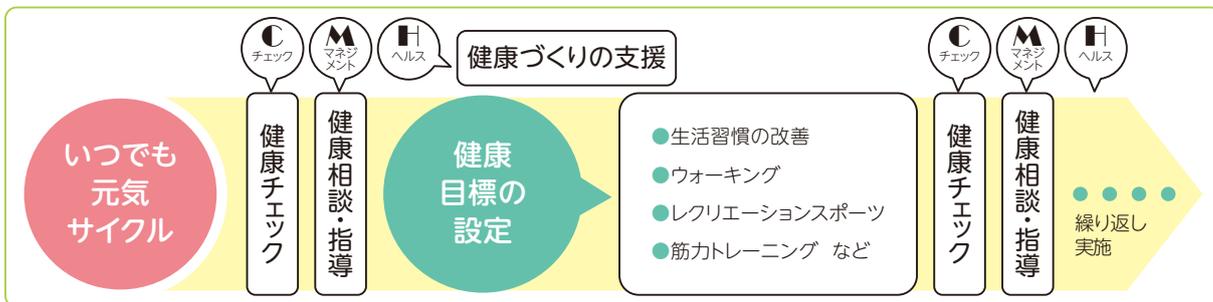
<https://www.city.owariasahi.lg.jp/site/healthycity/3609.html>



1 いきいき元気サイクル

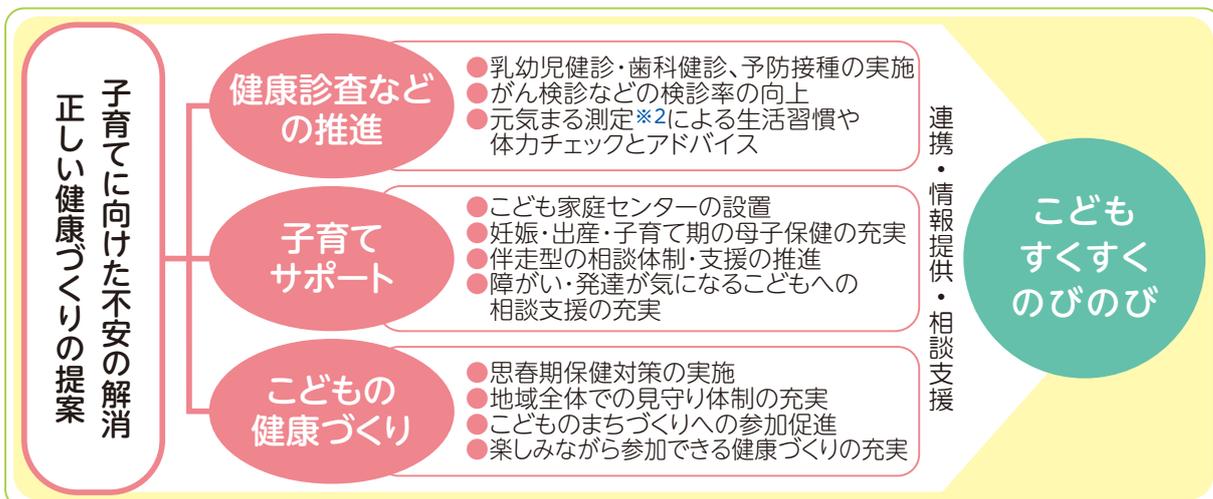
いつでも元気サイクルの推進イメージ

健康チェック(C:チェック)を行い、適切な健康相談・指導(M:マネジメント)を実施し、健康づくり(H:ヘルス)への取組を繰り返し支援するなど市民の健康管理サイクルを確立します。



こどもすくすくのびのびの推進イメージ

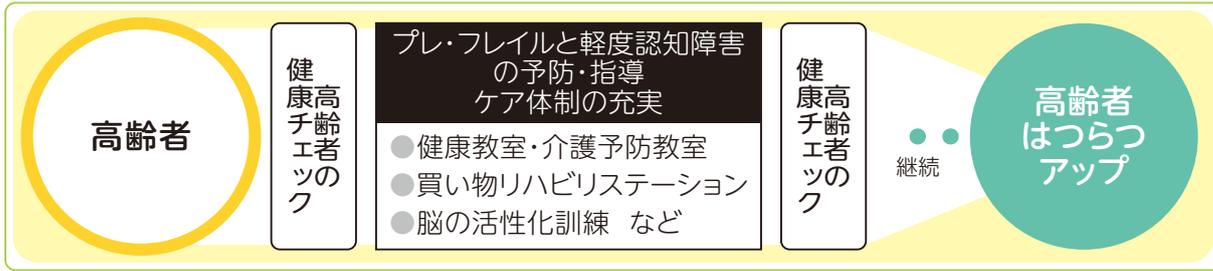
幼少期からの健康づくりは、将来的な健康寿命^{*1}の延伸につながることから、ライフステージに応じた健康づくりを推進します。



*注釈は、7ページに記載

高齢者はつつアップの推進イメージ

プレ・フレイル^{※3}及び軽度認知障害の早期発見・予防につなげるため、運動機能と脳の健康チェックを推進するとともに、疑いがあると判定された場合のケア体制の充実を図ります。



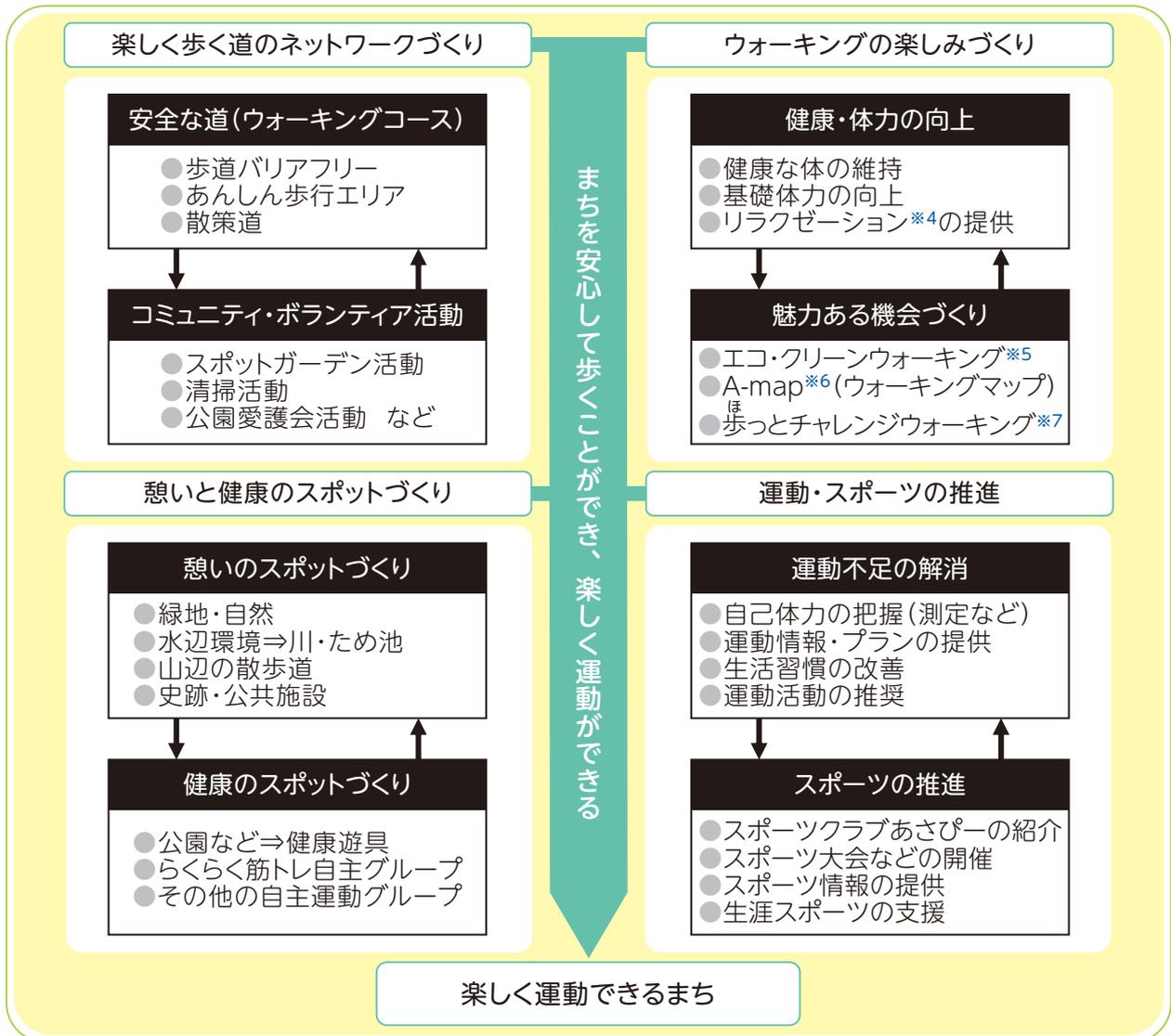
介護予防教室
(飲み込み機能チェック)



2 楽しく運動できるまち

楽しく運動できるまちの推進イメージ

運動不足の解消と健康増進のため、ウォーキングや運動・スポーツの環境整備や憩いの空間づくりを推進し、イベントの開催や情報発信を通じて、運動習慣の定着と健康増進を図ります。



歩行者と自転車道を分けた
安心歩行エリア



健康遊具



あさびースマイルウォーキング

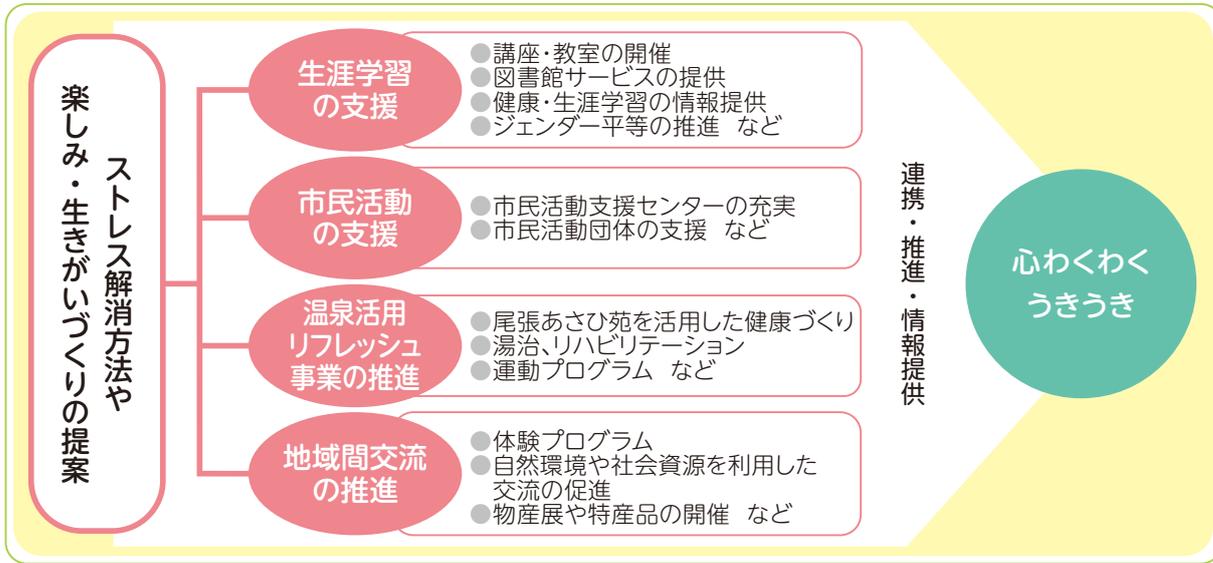


ニュースポーツフェスティバル

3 心わくわくうきうき

心わくわくうきうきの推進イメージ

心の健康を保つため、生涯学習や市民活動の情報発信、図書館での健康情報提供を行い、楽しみや生きがいづくりを応援します。また、市保養センター尾張あさひ苑の活用や地域間交流を通じて、人とのつながり及び心身のリフレッシュを促進します。



こども司書体験

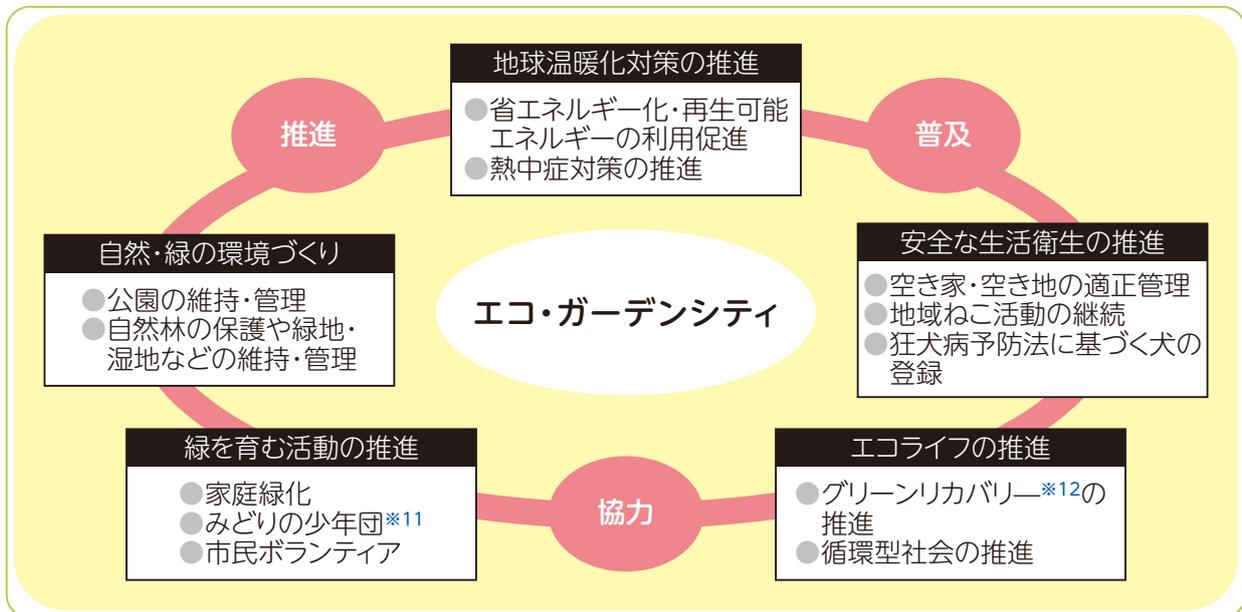


市保養センター尾張あさひ苑

4 プラネタリーヘルス

エコ・ガーデンシティ※8の推進イメージ

地球温暖化対策として省エネルギー化及び再生可能エネルギー※9の利用を促進するとともに、適切な熱中症対策を実施します。また、環境負荷の低減や資源循環型社会※10を推進するとともに、緑地の整備や保全、市民参加の環境美化活動を促進することで自然と共生するエコ・ガーデンシティを目指します。



湿地ボランティア



緑化運動(市役所壁面)

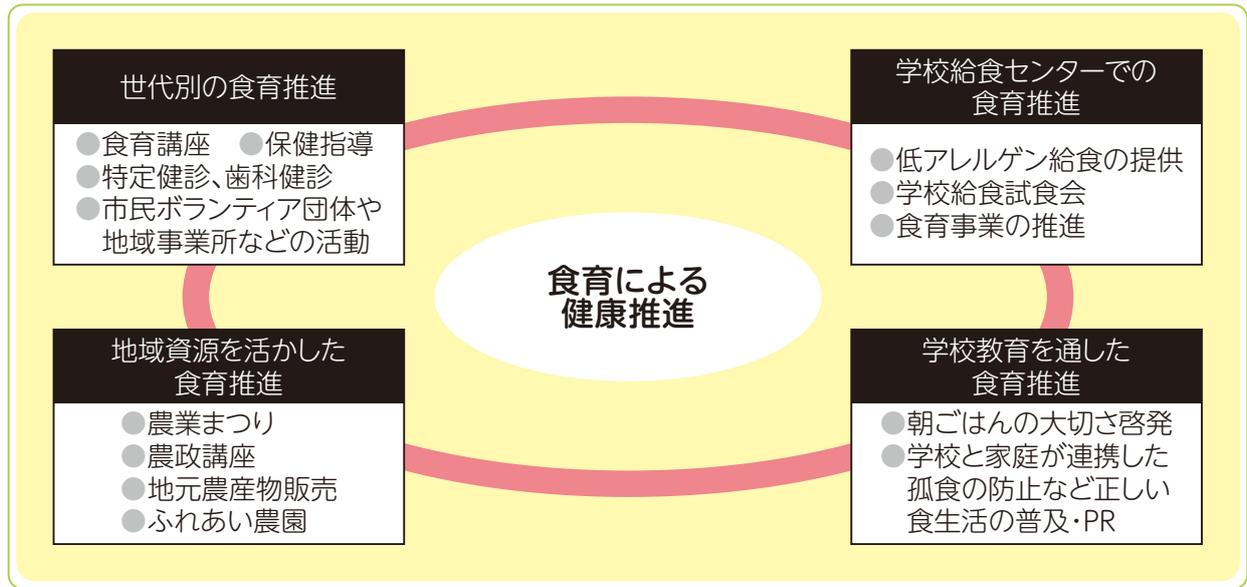


太陽光発電(中学校屋上屋根)

※注釈は、7ページに記載

食育による健康推進のイメージ

世代別の食育講座や保健指導を実施し、地元食材や資源を活用した体験機会を提供します。また、学校教育や給食等を通じ、食に対する関心と正しい食習慣などの知識の定着を図ります。



農業まつり



親子料理教室

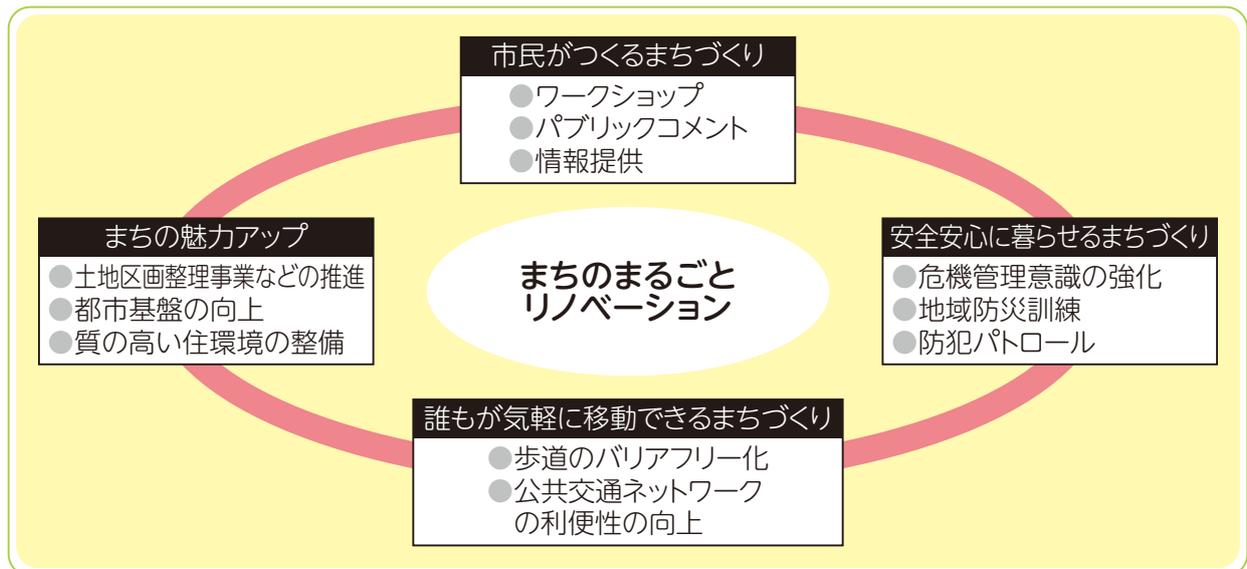


学校給食試食会

5 まちのまるごとリノベーション

まちのまるごとリノベーションの推進イメージ

市街地※13や駅前広場の整備を推進するとともに、既存の道路や公園など都市基盤の維持・更新を行うほか、安全・安心に移動できる環境づくりとして、市営バスの利便性向上を図ります。また、ユニバーサルデザイン※14を考慮した施設整備や市民活動の場を提供を行い、安心して暮らせる共創社会を目指します。



三郷駅前まち育てワークショップ



市営バスあさぴ一号



地域防災訓練(心肺蘇生法体験講習)



参考 用語集

- ※1 **健康寿命** 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。
- ※2 **元気まる測定** 問診と体力測定により市民の健康状態を可視化し、結果に見合ったアドバイスを実施して、健康意識向上と生活習慣改善を促す。
- ※3 **フレイル** 年齢に伴い、筋力や心身の活力が低下した状態であること。フレイルが悪化すると要介護状態となる。
- ※4 **リラクゼーション** 心身ともにストレスがまったくない状態のこと。
- ※5 **エコ・グリーンウォーキング** 環境に配慮し、ごみ拾いなどを併せて行うウォーキングをイメージしたもの。
- ※6 **A-map(ええまっぷ)** 市内の見どころや「おいしい紅茶の店」を楽しみながら歩くことができるウォーキングマップ。初心者向けのショートコースから経験者向けのロングコースなど、12コースを掲載している。
- ※7 **歩っとチャレンジウォーキング** ウォーキングコース巡りとウォーキングイベント参加者に記念品を進呈する事業。ウォーキングガイドマップA-mapのコースを歩くと、あさひ健康マイスターのポイントがためられる。
- ※8 **エコ・ガーデンシティ** 環境に配慮し、緑に包まれたまちをイメージしたもの。
- ※9 **再生可能エネルギー** 太陽光、風力、水力など化石燃料でなく自然の力をそのままエネルギーに変換する地球にやさしいエネルギー。
- ※10 **資源循環型社会** 限りある資源を効率的に利用し、リサイクルなどで循環させながら将来にわたって持続して使い続けていく社会のこと。
- ※11 **みどりの少年団** 自然に親しみ緑を育む活動を通じて、明るい社会人に育つことを願って結成され、主に野外活動、学習活動、奉仕活動などを行う次代を担う少年少女達。
- ※12 **グリーンリカバリー** これまでの社会に戻すのではなく、環境を最優先した社会に変えていくこと。
- ※13 **市街地** 家屋・商業施設や商店・商店街が密集した土地や区域のこと。
- ※14 **ユニバーサルデザイン** 年齢や性別、障がいの有無に関係なく、誰でも使いやすいデザイン。

尾張旭市健康都市宣言(平成16年8月1日宣言)

緑と太陽に恵まれた わたくしたちのまち尾張旭市は 市民一人ひとりが 心も体も健やかでいきいきと暮らすことを 永久の願いとし ここに「健康都市 尾張旭」を宣言します



- **お**おきな夢を持ち 健康はみずから築きます
- **わ**たくしたちは 進んで健康づくりに努めます
- **り**んとした生活から 健康づくりを始めます
- **あ**さひのように ころも明るく爽やかな生活をおくります
- **さ**んさんと降り注ぐ太陽のように 健康に輝きます
- **ひ**とと人のふれあいを大切に 「健康都市 尾張旭」を目指します

(平成16年8月1日宣言)

「尾張旭市 健康の日」(毎年4月29日)

「尾張旭市健康都市宣言」と同時に、毎年4月29日を「尾張旭市 健康の日」と定め(平成16年8月1日制定)、平成17年度から、健康都市づくりの各種事業を通して、市民の健康への意識をさらに高め、市民自ら健康づくりに取り組む機会を提供し、「健康都市」を発信することを目的として「あさひ健康フェスタ」等の催しを実施しています。新緑の美しいさわやかなこの時季が、緑あふれる本市のイメージにぴったりで、何より健康づくりを意識するのにふさわしいという、市民意見をもとに決定しました。

WHOが提唱する『健康都市』とは

WHO(世界保健機関)は、「健康都市」を提唱しています。

健康都市とは、健康を個人の責任としてのみ捉えるのではなく、都市そのものの健康を通して市民の健康を目指す都市のことです。これは、保健・医療の分野だけでなく、従来これらとは関係性が希薄だった分野にも健康問題に深く関わってもらうことで、市民の健康を支える諸条件を整えていこうとするものです。健康都市づくりは、各都市がそれぞれの課題や実情を踏まえた健康都市のビジョンを持ち、その実現に向かって様々な分野が連携していくことが重要だと考えられています。

健康都市連合への加盟

WHO(世界保健機関)の提唱する「健康都市」の考え方のもと、日本が所属するWHO西太平洋地域事務局の呼びかけにより、健康都市のアプローチによって、市民の生活の質と健康の向上を目指す都市と関連団体の国際ネットワーク組織である「健康都市連合」が平成15年10月に設立されました。

健康都市の取組は、WHOの各地域事務局の働きかけにより、世界各都市で展開されています。

本市は、「健康は市民全ての共通の願いである」との考えにより、平成15年から「健康づくりのまちづくり」を市の最重要施策の一つに位置づけ、様々な事業に取り組んでいたことから、WHOの健康都市の理念に賛同し、平成16年6月25日に「健康都市連合」の設立メンバーとして加盟を承認されました。

また、平成16年8月1日に健康都市宣言を行うとともに、毎年4月29日を「尾張旭市 健康の日」と定め、健康都市を目指していくことを広く国内外にアピールしたほか、同年10月にはマレーシアのクチン市で開催された健康都市連合の設立総会にも出席し、健康都市の実現に向けて第一歩を踏み出しました。さらに、平成17年4月には、千葉県市川市、沖縄県平良市(現在は宮古島市)、静岡県袋井市及び本市の4市で「健康都市連合日本支部」を設立しました。

平成28年10月から令和3年11月までの約5年間、日本の加盟都市を代表して健康都市連合の理事を務め、西太平洋地域の健康都市の取組を先導するほか、健康都市連合日本支部でも理事を務めるなど健康都市の実現に向け、積極的に活動しています。

尾張旭市健康都市ロゴマーク

尾張旭市健康都市ロゴマークは、健康都市連合(ALLIANCE FOR HEALTHY CITIES)のロゴマークに、「OWARIASAHICITY」を付け加えたものです。本市は、健康都市連合加盟後、このロゴマークを尾張旭市健康都市プログラム、チラシ、ホームページなどで活用し、「健康都市 尾張旭」を積極的にPRしています。

ロゴマークの使用については、「尾張旭市健康都市ロゴマークの使用に関する要綱」で定めています。



尾張旭市の健康都市の取組について(関連サイト)

- 健康都市 尾張旭 (市公式ホームページ)
<https://www.city.owariasahi.lg.jp/site/healthycity/9767.html>
- 健康都市の取組のまとめ (市公式ホームページ)
<https://www.city.owariasahi.lg.jp/site/healthycity/3267.html>



【問い合わせ】 尾張旭市役所 市長公室 健康都市・スポーツ課 健康都市推進係
電話：(0561)76-8101 e-Mail：healthycity@city.owariasahi.lg.jp